

キッチンから電力を。

「天ぷら油発電」

始まります！

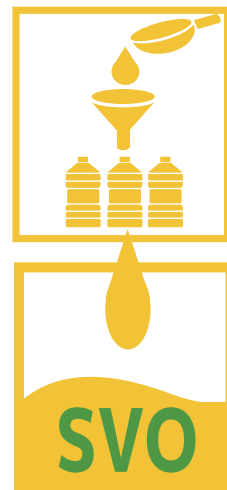
2020年の発電開始に向け、天ぷら油回収調査実施中です！

「天ぷら油発電」とは？

天ぷらや唐揚げ、とんかつなどを揚げた使用済みの植物油（サラダオイル）を精製したものを燃料にして発電します。

植物油そのままの燃料を **SVO (Straight Vegetable Oil)** と呼びます。
SVO は、使い古されたてんぷら油を遠心分離器などで濾すだけで使えるので、コストも最小限で済み、廃棄物も少ないのがメリットです。
植物由来の燃料 100%で発電するので、もちろん、カーボンフリー！温暖化対策にも寄与します。

植物油の燃料使用というと、BDF (Bio Diesel fuel) がこれまで一般的でした。
BDF はそのままディーゼル車を走らせることができるなど汎用性も高いのですが、精製するためにメタノールを必要としたり、副産物としてグリセリンが出たりするため、コストもかかり、廃棄物も増えてしまいます。



天ぷら油はどれくらいのパワー？

1 リットルの廃油



冷蔵庫

3日間
以上作動

約 3kWh の電力

(省エネ型・消費電力 338kWh/年)

目標

3年後



145kWhの発電所
1基開設
年間約 120 万 kWh



一般家庭
約 300 軒分

5年以内
3基開設



私たち一般社団法人八王子協同エネルギー（通称「はちエネ」）は、エネルギーの地産地消、原発に頼らない社会の実現を目指し、100%市民出資で運営されている非営利の電力会社です。

八王子協同
エネルギー
8ene.org